



新たに導入したEV車

## News+

### 3台目の電気自動車 (EV) が納車 xcentric-EV の実証実験

市は株式会社村上商会と協力し、令和3年11月から無給電電気自動車の実証実験を実施しています。6月20日、3台目の納車式が行われました。公用車として利用し、天候条件に応じた走行データを提供します。

同社は一関工業高等専門学校と開発に取り組み、3台目は、これまでのデータを基に発電効率や給電制御を改良。1日の想定走行距離約25\*<sub>0</sub>で、商用電源に頼らず電力の自給循環を目指しています。実証実験は令和7年3月まで実施されます。

NEWS

## NTT久慈ビルを避難場所として開放

ICTの活用による地域の活性化に向けた連携に関する協定締結式

7月2日、市はNTT東日本岩手支店と、情報通信技術 (ICT) を活用した地域の活性化に向けて、連携協定を締結しました。同社は地域課題の解決に取り組んでおり、県内の市町村との協定締結は7カ所目。協定にはデジタルトランスフォーメーション (DX) の推進や災害に強いまちづくり、観光振興などが盛り込まれ、さまざまな分野で協力して取り組みます。協定の一環として、長内町のNTT久慈ビルを災害時の緊急避難場所として開放することも決定。周辺には高い建物が無く、住民からは垂直避難できる場所として活用を求める声が出ていました。同社の通信ビルの屋内スペースを解放するのは、東北では初め

て。同地域で予想される最大10層の津波に対応できる、地上高10層の3階と15層の屋上を災害時に解放します。後藤高宏支店長は「屋内開放はセキュリティ面などの課題がありますが、人命を守ることを最優先に考え、決定しました。地域に根差した通信事業者として、地域の課題解決に尽力していきたいです」と思いを語りました。



協定書を掲げる後藤支店長と遠藤市長

NEWS

## 久慈とカナダをつなぐ柔道交流

KIZUNA JUDO CLUBが久慈を訪問



交流稽古後に餅つきを体験



真剣な表情で稽古



シャワークライミングに笑顔



練習に参加する延足さん



児童と練習で交流

NEWS

## 汗を流し、伝統芸能とジビエを堪能！

草刈りボランティア川代応援隊

6月30日、夏井町川代・大芦地区の川代地区振興会が、草刈りボランティア事業「川代応援隊」を企画し、市内から40人が参加しました。川代・大芦地区では、住民の高齢化が進行。沿道の草刈りや伝統行事の担い手が不足し、地域の行事が成り立たなくなるといふ不安が募っていました。地区以外の人との交流を通して、地区を元気にし、魅力を伝えたいという思いから川代応援隊を企画しました。当日は地区住民と参加者が、夏井農村地域交流館周辺の草刈り作業を1時間程度実施しました。作業で汗を流した後には、夏井町川代・大芦地区に伝わる伝統芸能「大芦しゃくし舞」を体験。地区で獲れたジビエの焼き肉を味わいなが



草刈り作業に汗を流す参加者

ら、親睦を深めました。主催した夏井俊勝会長は、「多くの人に参加してもらいうれしく思います。伝統文化を紹介する機会もでき、今後活動も継続していきたいです」と思いを語りました。

7月17日から21日にかけて、夏井町出身の延足武さんが代表を務めるカナダの道場KIZUNA JUDO CLUBが市を訪れ、児童生徒らと交流しました。延足さんは5歳から三船十段記念館で柔道を習い、中学校3年生、高校3年生の時には、全国3位に入賞しました。大学卒業後は地元で就職。同館にも手伝いに訪れていましたが、海外へのあこがれから27歳の時にカナダへのワーキングホリデーを経験。そこで出会ったアシユリーさんと結婚し、移住を決断しました。カナダのメイプルリッジという町で令和3年9月に道場を開き、現在は5歳から60代までの約70人に、柔道の精神や楽しさを伝えていきます。今回の訪問は、日本の子どもたちの柔道へ取り組み方や技術を体験してほしいという延足さんの思いで初めて実現しました。カナダからは13歳から17歳までの道場生やコーチら11人が参加。柔道着を製造している会社の見学やシャワークライミング体験、ホームステイなどを行いました。

18日と20日は三船十段記念館で、児童生徒らと交流稽古を実施。言葉が通じなくても、柔道用語や身振り手振りでのコミュニケーションを取りながら、汗を流しました。延足さんも練習に参加しながら、子どもたちの様子を見守りました。KIZUNA JUDO CLUBのパートック・ライユウさんは「日本のみなさんは、技の一つ一つが洗練されていると感じました。カナダの柔道とはテクニクがひと味違うと思います。力より技が上回ることを体感できました」と交流を振り返りました。延足さんは「ふるさとである久慈のみなさんと柔道で交流することは、一つの目標でした。多くの人に協力いただき実現できてうれしいです。生徒たちは、来日前は緊張していましたが、日本の子どもたちと楽しく練習している様子を見て、今回の交流は大成功だったと思います。これからも久慈や岩手県のみなさんと、柔道をとoshした交流を続けていきたいです」と振り返りました。

## INFORMATION

### わたしエコで賞 コンテスト開催！

県では地球温暖化防止のため、暮らしの中でのエコ活動を奨励する「わたしエコで賞」コンテストを開催中です。いわてわんこ節電所「家庭のエコチェック」に参加し、エコ活動の成果を報告することで、県産品が抽選で当たります。よりエコ活動に取り組んだ方は、「わたしエコで賞」や「エコ頑張ったで賞」へ応募が可能！この夏、エコ活動にチャレンジしてみませんか？詳しくはHPを確認ください。



▶期間…9月30日(月)まで  
▶参加方法…二次元コードを読み取り確認ください。  
関わたしエコで賞コンテスト事務局 (いわて県民情報交流センター・アイーナ) ☎019-606-1752